

平成30年  
4月22日執行

# 宮古市議会議員一般選挙選挙公報

宮古市  
選挙管理委員会

## 市民の声を市政に届けます！

- ・復興促進
- ・教育立市の実現
- ・子育て環境の充実
- ・ダイバーシティのまちづくり
- ・産業立市の推進
- ・読書環境の充実
- ・健康福祉政策の充実
- ・市議会改革



くまさか  
のぶこ  
熊坂  
伸子  
(六十五歳)

略歴 1952年宮古市生まれ。宮古市立愛宕小学校・愛宕中学校・岩手県立宮古高校卒業。弘前大学理学部・慶応義塾大学文学部卒業。東北大学大学院経済学研究科博士課程修了。お茶の水女子大学大学院研究生。滝沢村(現滝沢市)助役、普代村教育委員会教育長、青森地方裁判所事務官、盛岡地方裁判所調停委員等を歴任。著書に『NPMと政策評価』(ぎょうせい)、『自治体経営革命』(メタモル出版)、『検証・小中一貫教育のマネジメント』(第一法規)他。宮古市議会経済常任委員会委員。博士(経営学)。



ながた  
たかひろ  
長門  
たかひろ

宮古市は人口減少や雇用の創出など地方創生の大きな課題が山積しております。また、最小の経費で最大の効果をあげる行政改革、そして市民の負担にこたえる議会改革が必要であります。私は、これまでの行政経験、議員経験を生かし努力する決意であります。皆様のご支援を心からお願ひ申し上げます。

### ● マニフェスト ●

- ◎人口減少対策と雇用の創出
- ◎行政改革及び議会改革の推進
- ◎農林漁業及び商工観光の振興
- ◎福祉医療、教育環境の充実
- ◎生活環境整備の拡充

### ● 経歴 ●

- 中央大学法学部卒業
- 宮古市水道事業所長・国保年金課長・企画調整課長
- 宮古市収入役(2期)
- 宮古市議会議員(3期) 議会運営委員長・教育民生常任委員長
- 宮古市監査委員(現)
- 花輪中学校PTA会長・花輪小学校校舎改築期成同盟会長
- 陸中宮古青年会議所理事長・宮古高等学校同窓会会長(現)
- 中央大学宮古白門会幹事(現)・田鎖自治会長(現)

## 地域に根ざした 市政の実現

### 私の主張

- 若者が安心して地元で働き子育てできる保育環境の充実
- 医療・福祉・介護サービスの更なる充実
- 雇用の場の確保と産業振興
- 国道340号押角トンネル前後の早期復旧
- 携帯電話不感地域整備で情報格差解消
- 和井内地区住居の国道へのアクセス道路整備
- 地域資源を生かした観光振興
- 閉校後の学校施設と用地の有効活用
- 台風による被害の早期災害復旧
- 議会基本条例の順守と更なる議会改革



ふじわら  
みつとよし  
藤原  
みつとよし  
69歳

## 皆さんの声を市政にお届けします

私は、多くの皆様方のお力添えのもとに、議会に参画させて頂いてから早いもので、二期八年が経過しようとしております。この間、私なりに市内各地を駆け巡ってまいりました。宮古市は今、未曾有の大災害となった東日本大震災からの復旧・復興に加え、平成二十八年八月の台風十号被害に対する対応、三陸沿岸道路及び宮古盛岡横断道路の早期整備、さらには港を活用するフェリー航路開設、平成三十年六月予定、等々、大きく進展、変貌する時期を迎え、それに伴う多くの課題も山積しております。私は、そのような状況の中で「二期目の挑戦」を決意いたしました。「皆様方お一人おひとりの役割立ちのたため」という自身の信条を決して忘れることなく、初心に返り努力する決意でございます。今後も、現場主義を貫き、皆様方のお役立ちのために微力ながら誠意行動を起こしたいものと思っております。

### 私の目指す目標

- ◆より一層の震災復興促進
- ◆より一層の市民生活の安定向上
- ◆より一層の農林水産業の整備促進
- ◆より一層の地域力・活性化促進
- ◆より一層の道路交通網の整備拡充
- ◆より一層の消防防災体制の充実強化
- ◆より一層の社会福祉(高齢者)の充実
- ◆より一層の定住化促進

宮古市崎山に生まれる。宮古市農業協同組合入組(現新岩手農協)(営農経済課長、総務課長、宮古中央支店長、共済部長等歴任) 宮古市消防団入団(第16分団長、本部分団長歴任、現在副団長) 岩手県立杜陵高校同窓会宮古支部長 嶺山中学校PTA会長・学校評議員 箱石地区自治会長 宮古市農業委員(会長歴任) 宮古地方森林組合理事 社会福祉法人恵心会理事 宮古市議会議員

昭和23年 宮古市議会議員(初任)

昭和43年~平成16年 宮古市議会議員(現)

昭和44年~現在 宮古市議会議員(現)

昭和51年~平成8年 宮古市議会議員(現)

平成7年~平成8年 宮古市議会議員(現)

平成14年~現在 宮古市議会議員(現)

平成18年~平成23年 宮古市議会議員(現)

平成20年~平成29年 宮古市議会議員(現)

平成21年~平成29年 宮古市議会議員(現)

平成22年~現在 宮古市議会議員(現)



ささき  
しげお  
佐々木  
しげお



ささき  
しげお  
佐々木  
しげお

### 私の主張

- 基幹産業「農林漁業」の振興
- 高速交通網を生かした町づくり
- 通年観光による経済の活性化を図る
- 月山展望台の整備
- 市民に夢を持たせ生きがいのある宮古の建設
- 後期高齢者に無料バス若しくはワンコイン乗車を
- 医療・福祉の充実を
- 既存産業の育成と企業の誘致で雇用の場を

昭和21年 宮古市高浜に生まれる

昭和40年 宮古高校定時制卒業

昭和51年 黒潮建設設立・代表

平成25年 高浜自治会長(六期目)

平成26年 宮古市議会議員当選



くどう  
ゆりこ  
くどう  
小百合

## 住みつけたい街にするために！

### 私のめざす市政

- 子育て支援の充実と少子化対策
- 雇用の確保・若者が地元
- 医療・福祉・介護施設の充実
- 高齢者の健康づくり、生きがい対策
- 農林水産業の充実を
- 地震・津波など多重防災のまちづくり
- エネルギーの地産地消  
木材・太陽光・水力で発電
- 住みたい住みよい宮古市の発展に頑張ります。

## 森川海の地域を編むまちづくり

まちづくりの主役は私たち一人ひとりの市民です。大震災からの復興を第一に、地域への愛情と誇りを持ち、未来を見据えた「創造力」で、新たなまちづくりに取り組んでいかなければなりません。「持続可能な明るい豊かな社会」を目指すために、「創造・環境・教育・情報」を主な政策テーマに掲げ、「森川海の地域を編む風」として「初心にかえり」さらなる努力を重ねて参ります。皆様のご支援を賜るよう何卒よろしくお願い申し上げます。

### 私のあゆみ

- 1955年2月22日 宮古市生まれ
  - 県立宮古商業高校卒業/日本大学経済学部卒業
  - 月刊タウン誌「みやこわが町」編集発行人
  - 2010年4月 宮古市議会議員初当選(現在2期目)
- 【主な社会活動】  
NPO いわてマリンフィールド理事長/宮古市ヨット協会会長/みやこまちづくりマスター/宮古ジュニアセーリングクラブ代表/そけいマリーンスズメ会/陸中宮古青年会議所OB/宮古商工会議所青年部OB/河南中学校元PTA会長・学校評議員/○岩手県体育協会功労賞受賞(平成29年) ○趣味/郷土史研究、ソフトバレー、合唱、スポーツ観戦、ヨット。

- 地域資源を活かしたまちづくりに努めます。
- 自然と調和した地域社会の形成を目指します。
- 教育・文化芸術創造とスポーツ振興を図ります。
- 情報通信技術を活用したまちづくりに取り組みます。
- NPO活動・多文化共生・福祉・子育て環境の充実を図ります。



はしもと  
ひさお  
橋本  
久夫

## 若かりし情熱で未来を創る。

昨年の補欠選挙で初当選させて頂いてから約十か月が過ぎ、生まれ育った宮古市を元気にしたいとの熱い気持ちで汗をかいて活動して参りました。その中で様々な方々と出会い、「意見・指導をいただき、改めて若い力への期待の大きさを感ずることが出来ました。今後は皆様方からいただいた期待と責任を力に変え、全力を尽くして参りますので、ご支援を心からお願ひ申し上げます。



きむら  
まこと  
木村  
誠  
(四十五歳)

### 私の公約

- ◎農林水産業の振興
- ◎健康寿命を伸ばす環境づくり
- ◎若者が定着を望む街づくり
- ◎教育・子育てが楽しく行える街づくり
- ◎老後も安心して暮らせる街づくり
- ◎女性の感性を取り入れた街づくり
- ◎声をかたちにした街づくり



平成30年  
4月22日執行

# 宮古市議会議員一般選挙選挙公報

宮古市  
選挙管理委員会

## 住んでいたい、子孫にも住ませたい ふるさと宮古の実現に取り組みます



### 加藤 浩史

#### 私の政策

- 一、中心部は都市機能を充実して三陸沿岸の拠点都市を目指し、周辺部は自然特性を生かした産業を振興する
- 一、医療と福祉、子育て環境を充実する
- 一、防災計画に基づき防災のまちを推進する
- 一、対話と協働によるまちづくりを推進する
- 一、議会基本条例・倫理条例を中心に議会改革を進める

#### 私の歩み

- 昭和23年田老町に生まれる
- 地元の小・中学校から宮古高校を経て明治大学卒業
- 亀井商店(株)を経て加藤昇一商店勤務
- 平成3年から田老町議会議員4期。その間総務教民・建設・議会運営各委員長を歴任
- 宮古市議会議員3期目総務常任委員長を経て現在副議長
- 保護司(現職) 明治大学駿台クラブ宮古支部長(現職)

#### 私の約束

- 産業と観光の振興に努力します。
- 地域経済対策に努力します
- 雇用の創出、安定に努力します。
- 少子高齢化対策と福祉の向上に努力します。
- 三陸沿岸道路・宮古盛岡復興道路、北部環状線の整備促進に努力します。

- 昭和40年3月 岩手県立宮古高等学校卒業
- 昭和40年5月 宮古市役所採用
- 平成13年4月 宮古市農業委員会事務局長
- 平成14年8月 宮古市産業振興部地域振興室長
- 平成16年4月 宮古市都市整備部長
- 平成19年3月 退職
- 平成22年～現在 宮古市議会議員2期 建設常任委員長1期



### 高橋 ひでまさ

市役所勤務四〇年、議員二期の実績を生かし、使命感・決断力・英知を結集して即戦力として頑張ります。

## 子どもたちの未来のために 同じ目線、同じ立場で取り組みます

# 36歳の挑戦!



### 白石 まさ晴

#### 若者が希望を持ち夢をえがける

- キャリア教育の充実
- 学んだ知識を活かせる職場づくり

#### 未来を見据えたまちづくり

- 高齢化に対応した交通手段
- 効果的な空き家対策

#### 誰もが安心できる子育て政策

- 家族で子育てができる環境整備
- 病中保育の実施

#### 充実した支援のある福祉

- 自分らしい居場所づくり
- 分け隔てない暮らしの実現

#### 暮らしを支える産業アイデア

- フェリーを活用した産業支援
- 地域資源を生かした交流人口拡大

経歴  
 ○昭和36年 5月30日生まれ 36歳 津軽石出身  
 ○津軽石中学校・宮古商業高校卒業  
 ○平成26年5月市議会議員初当選  
 ○平成28年、29年度 津軽石小学校PTA会長  
 ○宮古防衛第21分団分団長  
 ○フリースクール花巻塾塾長・ボランティアスタッフ  
 ○子育支援課長  
 ○社団法人宮古市議会議員会議員  
 ○第一回みやこ市民会議 副委員長  
 ○議会広報編集特別委員会委員長  
 ○議会常任委員会委員  
 ○教育民生常任委員会委員  
 ○経済常任委員会委員  
 ○宮古市庁舎跡地活用調査特別委員会委員

### 日本共産党 おちあい久三

## 命と暮らしを支える あたたかい市政を

#### くらし

- ◎国保税を一世帯一万円引き下げます
- ◎介護保険料の負担軽減と、家族介護手当の増額を
- ◎ワンコインバスの運行を

#### 復興

- ◎災害公営住宅の家賃の負担軽減を
- ◎公営住宅の高齢者見守り体制を強めます
- ◎子どもの心のケアを強

#### 子育て

- ◎待機児童の早期解消
- ◎高校卒業まで医療費無

#### 産業

- ◎公共工事の地元業者の受注を増やします
- ◎シンポジウム開催など、不漁対策を本格的に

### 西村 しょうじ (46歳)

## 住む人が幸せと感じる町 宮古がいちばん! そんなまちづくりを目指します

- その1** 子どもと高齢者や障がい者の共生社会を目指します!  
子育て支援と高齢者自立支援又は障がい者支援を合わせた複合型コミュニティ施設の整備(福祉)  
■幼児保育施設と介護施設の併設  
■母子家庭に対する保護施策を拡充します  
■子育て世代の経済的な保護を手厚く
- その2** 子育て対策(人口問題)
- その3** 市内の各種産業振興への支援  
宮古版(=ならではの)地方創生戦略の基盤整備  
■宮古にしかない、宮古にふさわしい、宮古版の地方創生  
■観光産業を中心としたまちづくり  
■6次産業化への支援

プロフィール 昭和47年11月25日生まれ(46歳) 宮古市立山口小学校、宮古市立第一中学校、私立龍潭高等学校(現盛岡中央高等学校)卒業  
株式会社アルティメットプランニング専務取締役 平成29年6月宮古市議会議員補欠選挙にて初当選 若手県議友会青年部副部長  
好きな言葉 “率先行動” “仲間”

### ふたけやま しげる 島山 茂

## 安心・安全・公正な社会の実現!!労働者・生活者の視点で考動!!

- 〇少子高齢化・人口減少対策の充実
- 〇若者が定住できる雇用の創出
- 〇出会い・結婚・出産・子育て・就労支援の充実
- 〇保健・医療・介護の充実
- 〇高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- 〇女性活躍社会とワークライフ・バランス社会の実現
- 〇産業・観光振興
- 〇災害に強い安心・安全なまちづくり

私たちが住む宮古市は、森・川・海の自然に恵まれた風光明媚な広い地域です。しかし、近年は東日本大震災、昨年の台風10号と大規模自然災害に見舞われ、改めて自然の猛威と防災の大切さを痛感しました。いま復興計画では発展期の総仕上げの大事な時期を迎えています。

また、日本社会は少子高齢化、人口減少が大きな課題となっています。宮古市は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し問題解決に向け、雇用の確保を含めた産業振興、子育て支援、子供から高齢者まで安心して暮らせる地域づくり等に取り組んでいます。

私は今後も市民の皆さんと「災害に強いまち、若者が定住できるまち、人にやさしいまち」を実現できるよう政策活動を進めて参ります。

【私のあゆみ】  
 昭和41年 6月 23日生まれ(51歳)  
 藤原小学校、河南中学校、宮古高校 卒業  
 昭和60年 4月 宮古郵便局 入社  
 平成13年11月 連合若手宮古地域協議会 議長(4期8年)  
 平成14年 7月 宮古市構造改革推進協議会委員(平成21年4月まで)  
 平成19年 4月 宮古市男女共生推進委員会委員(平成21年3月まで)  
 平成28年 4月 小山田二丁目町内会 理事  
 平成29年 3月 山田郵便局 課長で退職 32年間勤務  
 平成29年 6月 宮古市議会議員 1期目

### とりい すむ 鳥居 晋 (64歳)

平成二十六年四月、無投票当選により、初任地である宮古市議会議員に就任いたしました。議員活動を通じて、市民の生活の向上に貢献できるよう努めます。

一期四年間の間で、成果を挙げ、二期四年間の途中で、再選を果たすことができました。市民生活の向上に貢献できるよう努めます。

一期四年間の間で、成果を挙げ、二期四年間の途中で、再選を果たすことができました。市民生活の向上に貢献できるよう努めます。

一期四年間の間で、成果を挙げ、二期四年間の途中で、再選を果たすことができました。市民生活の向上に貢献できるよう努めます。

平成30年  
4月22日執行

# 宮古市議会議員一般選挙選挙公報

宮古市  
選挙管理委員会

## 行動・挑戦、さらなる市政改革

### ●雇用の創出 一若者の定住促進一

経済が強くなれば若者は働き、定住できない。結婚も子育ても高齢者も支えられません。企業(製造業)誘致、誘致のための工業用地の確保。1ターン、Uターンの定住促進(稼ぐ場、住まい等の支援)、地産地消への支援強化、地元最優先の発注(地元でできるものは地元で)が必要です。「ふるさと応援隊」「地域おこし協力隊」の積極的な導入と支援。

### ●少子化対策・子育て共働き支援 一ストップ人口減少一

子供がいなければ、宮古市は消滅する。収入の少ない若者が結婚、子育てできる経済的支援(住宅、保育、教育の負担軽減)が必要です。病後児、病児保育の拡充、新設。

### ●行財政改革 一行政コストの削減をはかり投資へ一

宮古市を元気にするためには、財源(資金)が必要です。PPP(官民連携)事業、PFI(民間の資金とノウハウの活用)事業等の積極的導入、民間で出来るものは民間に移管し行政コストの削減が必要です。公共施設の適正配置と廃校等を経済的観点としての活用すべきです。投資的経費は間もなく枯渇します。投資的経費確保すべく行財政改革が必要です。

### ●生活環境 一安心、安全なまちづくり一

東日本大震災で市民の生活、事業が壊滅的な被害を受け、更には台風10号でさらさらの様に冠水・浸水で常態的に生活を脅かされる現状をしっかりと検証し、中長期的であっても計画的解消事業の導入が必要です。被災地以外の生活道路等積極的に整備する必要があります。

### ●議会改革 一市民の為に議会議員をー

現状の議会、議員では市民の負担に耐えられない。首長、行政をけん制、監視チェックする事は基本だが、オール宮古をいかに変革(イノベーション)、刷新(リノベーション)する施策の立案、財源確保、実行できる議会、イエスマンで無い議員が必要です。

昭和31年7月11日生(61才)
昭和40年3月 石川県立中島高等学校卒
平成4年 陸中宮古青年会議所 理事
平成8年 宮古商工会議所 青年部理事
平成10年2月 宮古市議会議員初当選
平成14年 県立宮古工業高等学校PTA会長
平成26年4月 宮古市議会議員5期目当選
平成29年6月 宮古市議会議員補欠選挙で再選
●宮古市議会議員選挙委員会 委員長
●定住促進対策特別委員会 委員長
●宮古地区広域行政組合議会 議長
●地籍法人 太田町内会 会長



まつもとなおみ  
**松本尚美**  
(六十一才)



### プロフィール

昭和22年生  
昭和41年 宮古高等学校卒業  
昭和45年 日本大学文理学部卒業  
・ロッテ商事株式会社勤務後、帰郷  
・宮古地区広域消防等組合  
・株式会社宮古室内  
平成18年 宮古市議会議員 初当選 (現在3期目)

### 社会活動

元 宮古市ひばりスポーツ少年団監督  
元 みやこ映画生活協同組合専務理事  
元 子どもの教育を考える市民の会代表  
NPOみやこ自立サポートセンター顧問  
NPO 岩手県青少年自立支援センター運営委員  
NPO 不登校父母の会  
米町自治会会長

### 趣味

陸上競技部(大学時代)  
野球・スキー・映画鑑賞

**私の主張**  
被災者が一人残らず自立するまで支援の継続に努めます。  
若者、子育て世代が住みたいと思えるまちづくりに努めます。  
当市の既存産業の充実を図り、雇用の拡大に努めます。  
持続可能な社会の地域水産業の形成に努めます。  
観光の再生で地域の活性化に努めます。  
住み続けるための高齢者の生活交通の再生に努めます。  
介護の地域生活支援の充実を努めます。  
障がいのある子どもたちを安心して生み育てられるまちに!



さかもと  
**坂本えつお**

### 【小西ごうきの歩み】

昭和48年 宮古市立日生生まれ。  
録音機小第二中、宮古工業高卒業。  
東京築地某社の仕事を終り、北海道にて、回線パイプの事業。  
船の特殊加工技術の習得し、船加工製造 船具会社社長職に就く。  
はるかなるマゼット、船具王国をメドピアにて放映。その後築地、新宿にて飲食店経営に専念。  
3.11後、復興のために帰郷。船加工工場創設プロジェクト及び各スポーツイベント活動に参画参加。  
生命保険協会、シニアクラブに加入。  
宮古市復興大学、教育委員会委員に就任。  
現在、次世代の繁栄と福祉の向上を、船具加工の技術と経営で推進中。

「若き血が叫ぶ」  
今、変えよう宮古  
明るい未来を  
自然が豊かな宮古市ですが、加速する環境の変化に対応しきれないまま、基礎産業の一つ水産業の少々の危機感を感じ、各漁協には「富養(陸上養殖)を提案させて頂いた。観光業ももう一つ振る舞うのが現状です。それらの原因は、行政にあると考えます。その対応のために、議会の刷新、若返りが必要で、宮古の未来のために、市民の皆様とともに新しい宮古をつくってまいりたいと思います。



こにし  
**小西ごうき**  
(四十四歳)

## 心の復興へ全力!

**やまきたまこと**  
公明党  
◆プロフィール◆  
昭和32年宮古市に生まれる。宮古高校卒業後、民間企業を経て、平成11年庭師「コジマ園芸」として独立。平成26年、市議会初当選。現在、宮古市バレーボール協会会長、党水産局長、宮古支部長60歳。  
○就学援助(新入学用品費)の入学前支給  
○不登校児童生徒の相談体制の充実  
○災害復興(官営住宅)の集会所の利用促進  
○生活困窮者の自立支援のための相談員を増員  
○森林づくり活動のさらなる推進  
○公園樹木の危険箇所を除去(保久田)  
○街路樹木の適正管理(板屋、西ヶ丘)

**私の主張**  
○教育に投資して未来の人材を輩出  
○宮古市の生活環境改善  
○若者が力を発揮できる魅力ある街づくり  
○介護予防で元気な高齢者の活躍の場をつくる  
○観光産業の充実、水産業の発展  
○全ての市民が助け合う共助公助の地域づくり



こしま  
**小島なおや**  
公明党公認

## 暮らしと平和の願いを 市政へまっすぐ届けます

- 産業**
  - ◎ 農林漁業の振興
  - ◎ 公共工事の地元業者への発注を増やします
- 復興**
  - ◎ 災害公営住宅の家賃の負担軽減を
  - ◎ 公営住宅の高齢者見守り体制を強めます
  - ◎ 子どもの心のケアを強めます
- 子育て**
  - ◎ 待機児童の早期解消
  - ◎ 高校卒業まで医療費無料に
- くらし**
  - ◎ 国保税の引き下げ、家族介護手当の創設
  - ◎ 宮古病院の医師確保
  - ◎ 鉄道・バス等、利便な交通網の実現



日本共産党  
**田中たかし**

## ひたすらに市民とともに ひたむきに暮らしと命を守るまちづくり

- わたしの政策**
- 震災からの復興と元気と活力のあるまちづくり
  - 若者が定住できる施策の推進
  - 保育所等の待機児童問題の早期解消
  - 医療・介護・保健福祉の充実
  - 女性・高齢者・障がい者が社会参画できるまちづくり
  - 「障害者差別解消法」の取り組み推進
  - 暮らしと生活の足を支える地域公共交通の維持・充実と利用促進
  - 公契約条例の制定等、働く者が安心して働ける環境整備の推進
  - 大震災と台風10号災害の検証を生かした災害に強いまちづくり
  - 憲法を暮らしに生かす市政

東日本大震災から七年が経過しました。復興計画では、平成二九年度から最終期である「発展期」に入っています。六月にはフェリー航路が開通され、道路を含む交通環境も大きく変わろうとしており、市政発展の大きなチャンスにしなければなりません。  
二〇年間の政治経験を生かし、市民の暮らしと「いのち」を守るために全力を尽くし、誰もが人間らしく生き、社会参加できるまちづくりをめざし、「ひたすらに ひたむきに」行動してまいります。



社民党  
**竹花けんじ**

## 3期目に取り組む重点課題

- 農業水産業の振興**
    - 農家の経営安定、所得向上
    - 施設栽培(パイプハウス)の推進
    - 有害鳥獣の被害対策
  - 地域防災対策**
    - 河川の整備 ● 避難所の充実
    - 豪雨による冠水・浸水対策
  - 農業と福祉**
    - 高齢化や後継者不足に悩む農業と、障がい者の働く場の確保「農福連携」に取り組めます。
- 経歴  
昭和28年2月24日生(65才)  
昭和48年3月 県立宮古高等学校(定時制)卒業  
昭和56年9月 足立ベニヤ(株)(現ホクコプライウッド)退職  
平成22年2月 新岩手農業協同組合退職
- 宮古地区広域行政組合議員  
● 宮古市総務常任委員会委員  
● 宮古市消防団第18分団分団長  
● 長沢自治会副会長



**誠心、躍進、郷土愛**  
**伊藤きよし**  
(六十五才)



**復興と地域活性化に全力!**  
**古舘あきひで**

